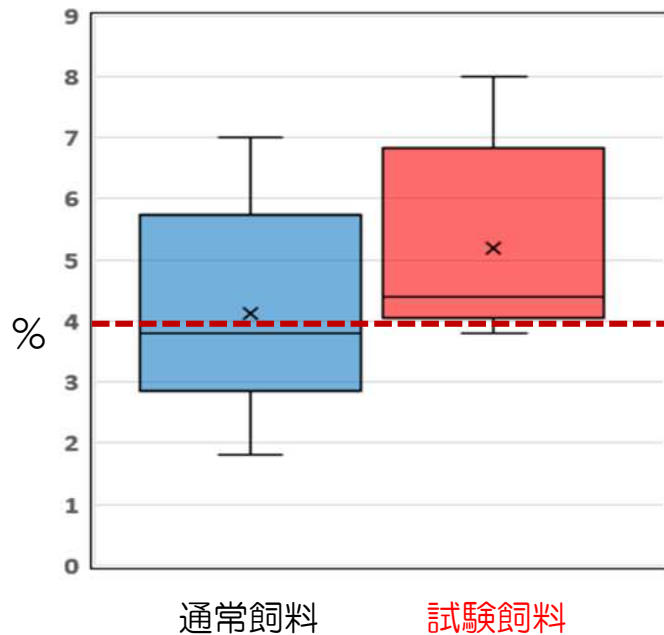


アミノ酸比率法に基づく高CP・低めリジン飼料 給与により全体の約88%が霜降り豚肉となる

高付加価値化の有効な手段として霜降り（脂肪交雑）の向上があり、肥育成績を低下させずに霜降りを向上させる技術として、アミノ酸比率法が開発されています。アミノ酸比率法に基づき高CP・低めリジン飼料を肥育後期豚に給与することで、出荷成績に影響せず、全体の約88%において霜降り（脂肪交雑）の基準となる胸最長筋中の粗脂肪含量が4%以上まで向上できる技術を確認し、ガイドラインを作成しました。



ロース断面

表. 胸最長筋中の粗脂肪含量